

全国老施協LIFE研修動画

「LIFEフィードバックの活用事例」

2022年3月作成

法人名：社会福祉法人鈴鹿福祉会

施設名：特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム

所在地：三重県鈴鹿市

職　種：施設長（管理栄養士、介護支援専門員）

氏　名：服部　昭博（**21**世紀委員会 委員長）

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service

当施設・事業所（種別と配置図）



※令和３年12月1日
開設

泊まる	➢単独型ショートステイ （ユニット型20床・2ユニット）
ケアプラン	➢居宅介護支援事業所 （ケアマネジャー）
暮らす	➢特別養護老人ホーム （ユニット型個室80床・8ユニット） CHASE→LIFE
泊まる	➢併設型ショートステイ （ユニット型10床・1ユニット） 〈共生型短期入所併設〉
通う	➢デイサービスセンター （大規模事業所Ⅱ ・定員70名）〈共生型生活介護併設〉 LIFE
地域生活を支える	➢介護予防普及啓発事業 【地域住民対象 介護予防教室】 ※地域（公民館等）又はデイサービスで開催（Webも可能）

当施設・事業所及び周辺の環境





ショートステイ翠風
居宅介護支援
（翠風棟）



当ホームの職員配置

とりあえず、やってみる！（興味を持って触ってみる）

【特別養護老人ホーム・併設短期(計90床) 職員体制】(令和4年3月1日現在)

職種	人数 【(　)うち非常勤】	LIFE記録職員	LIFE操作職員	LIFE管理ﾕｰｻﾞｰ
介護職員	４１（３）	４０（３）	０（０）	―
うちﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ	９（０）	９（０）	９（０）	―
看護職員	５（０）	５（０）	１（０）	―
介護支援専門員	２（１）	２（１）	２（１）	―
機能訓練指導員	１（０）	１（０）	１（０）	―
生活相談員	２（０）	１（０）	１（０）	１（０）
管理栄養士	２（１）	２（１）	１（０）	―
栄養士	１（１）	１（１）	０（０）	―
(嘱託)歯科衛生士	１（１）	０（０）	０（０）	―

※記録職員と操作職員の重複あり

LIFE関連加算の取得状況（R4.3現在）

【特別養護老人ホーム加算算定状況】

加算種類	算定開始月　　【　】…全国老施協調査(特養)
科学的介護推進体制加算	令和３年４月～　　【あり54.2%】
個別機能訓練加算	従来より　　【あり28.3%】
ＡＤＬ維持等加算	令和３年４月～９月　　【あり12.7%】
褥瘡ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ加算	令和元年１２月～　　【あり18.2%】
排せつ支援加算	令和２年　１月～　　【あり16.7%】
口腔衛生管理加算	令和３年　４月～　　【あり12.6%】
自立支援促進加算	令和３年　４月～　　【あり10.1%】

日常生活継続支援加算【あり12.3%】、夜勤職員配置加算、看護体制加算、看取り介護加算、 配置医師緊急時対応加算、安全対策体制加算、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算

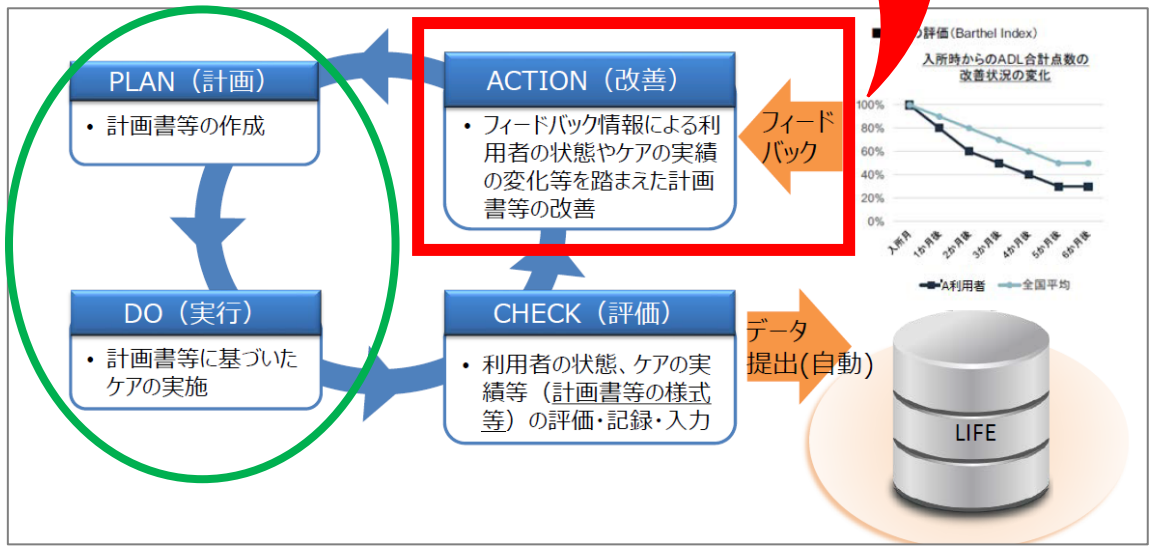
［未算定］
栄養ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ強化加算(次の目標)【あり31.2%】 、経口維持加算(次の目標)、経口移行加算、認知症専門ケア加算など

フィードバックの活用事例

ACTION（改善）

- フィードバック情報による利用者の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画書等の改善

フィードバック



鈴鹿グリーンホームのフィードバック活用イメージ



フィードバック

フィードバック票の読取り
Action（改善）

アセスメントの実施とLIFEへのデータ提出
Check（評価）

ケアへの反映
Do（実行）

サービス担当者会議や各加算の計画への反映
Plan（計画）

全国平均・前回データとの比較
維持・改善の傾向が得られなかった場合
→ その理由を探す

【科学的裏付けに基づいたケア】
利用者のQOL向上　ケアの向上

期間内の目標達成
状態の維持・改善

計画の妥当性の確認と評価
モニタリング・評価

現場実践
変更されたケアの実践・記録

ケア内容の周知
介護職員へのケア内容の伝達・共有
（24時間シートを含む）

各計画への落とし込み
施設サービス計画書
関連加算にかかる計画書

ケアの方針

フィードバック毎に前回データと比較

「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き」参照

介護ソフトへの記録による見える化・共有

現場職員への説明（ｴﾝﾄﾘｰﾀﾞｰ等）

ケアの方針に基づき各関連項目を確認

施設長
管理ﾕｰｻﾞｰ

フィードバックの活用事例

フィードバック票の概要

「LIFEで作成されるフィードバック票は、事業所票と利用者票の2種類から構成されています。
それぞれの概要や活用目的、活用例は図表13に示した通りです。」

(「ケアの質の向上に向けた 科学的介護情報システム（LIFE）利活用の手引き」より)

図表 13　フィードバック票の概要・活用目的・活用例

	事業所フィードバック票	利用者フィードバック票
概要	利用者のADLや栄養、口腔機能等に関する状態を事業所・施設単位で分析し、同様の介護保険サービスを提供する他事業所・施設との比較結果や過去からの変化を把握するための帳票です。	ADLや栄養、口腔機能等に関する状態について、自事業所・施設の利用者個別に分析し、要介護度等が同程度の他利用者との比較結果や過去からの変化を把握するための帳票です。
活用目的	自事業所・施設における特性や、利用者の特徴及びケアの特性を認識し、提供するケアの改善に活かすことが可能です。	各利用者のケアの目標や問題点、提供しているケアや状態を把握し、提供するケアによる改善状況を評価し、必要に応じて目標やケアの見直し等を行うことが可能です。
活用例	● 自事業所・施設の利用者像の把握 ● ケアの実施状況の把握 ● ケアの結果の把握 ● ケアの在り方の見直し ● 施設内の管理指標としての活用	● 利用者像や課題の把握 ● ケアの実施状況の把握 ● ケアの結果の把握 ● 利用者や家族への説明 ● 職員間での情報共有

フィードバックの活用事例

１．ADL項目に着目した排せつケアへの活用

２．関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用

１．「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

事例のユニットにおけるICT等利活用状況

➢**介護記録ソフト（BlueOceanNOTE Ⅱ）**

➢**インカム**（導入のきっかけは停電対策）

→その日の勤務職員は全員装着

➢**見守り支援機器（眠りSCAN 13台）**

→WiFi接続により、呼吸数・心拍数・離臥床状況等をリアルタイムで手元端末にて確認

→WiFi接続により、 1時間ごとに、呼吸数・心拍数・離床回数・離床時間・覚醒回数・睡眠回数・睡眠時間を介護記録ソフトに自動記録

➢**排せつ予測デバイス（DFree）**

→膀胱内尿量を手元端末で確認

➢**デジタル体温計・血圧計**

→BlueTooth接続により、測定結果を介護記録ｿﾌﾄに自動記録

















➢**その他**

・見守り支援機器（Neos+Care）、装着型移乗支援機器（J-PAS）、床走行式電動リフト、リフト浴などを使用

ADL項目※1に着目した個別ケアへの活用事例

【方法】

➢令和３年１０月サービス提供分　LIFEフィードバック（暫定版）の

“ADL”について「全国平均」と「当ホーム」を比較

【参考】令和３年１０月の当ホームのご入居者（７７名）の状況

・平均要介護度：４．０２　　全国平均より０．０６高い
・平均年齢　　：８８．３歳
・障がい高齢者の日常生活自立度B・Cランク※2　　：全国平均よりも　２％低い
・認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ・Ⅳ・Mランク※3：全国平均よりも２４％高い

※１）日常生活動作(ADL)に関する機能的評価指標で１０項目について得点評価を行う。得点が高いほど機能的評価も高い。
※２）障がい高齢者の日常生活自立度：
B「屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ」
C「1日中　ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する」
※３）認知症高齢者の日常生活自立度：
Ⅲ「日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが見られ、介護を必要とする」
Ⅳ「日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」
M「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする」

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

令和３年１０月サービス提供分　LIFEフィードバック（暫定版）「ADL（割合・平均値）」

		全国平均	当ホーム	差異
食事	全介助（0）	２９％	２５％	４％
	一部介助（5）	３０％	４２％	▲１２％
	自立（１０）	４１％	３１％	１０％
椅子とﾍﾞｯﾄﾞ間の移乗	全介助（0）	４２％	２７％	１５％
	座れるが移れない（5）	２１％	１９％	２％
	監視下（１０）	２４％	３６％	▲１２％
	自立（１５）	１３％	１７％	▲４％
整容	全介助（0）	５２％	３５％	１７％
	一部介助（5）	３１％	２７％	４％
	自立（１０）	１７％	３８％	▲２１％
ﾄｲﾚ動作	全介助（0）	５５％	４７％	８％
	一部介助（5）	３６％	４４％	▲８％
	自立（１０）	９％	９％	０％
入浴	全介助（0）	６６％	４９％	１７％
	一部介助（5）	３２％	５１％	▲１９％
	自立（１０）	２％	０％	２％
平地歩行	全介助（0）	６２％	５３％	９％
	車いす操作が可能（5）	２１％	２８％	▲７％
	歩行器等（１０）	１１％	９％	２％
	自立（１５）	６％	１１％	▲５％

		全国平均	当ホーム	差異
平地歩行	全介助（0）	６２％	５３％	９％
	車いす操作が可能（5）	２１％	２８％	▲７％
	歩行器等（１０）	１１％	９％	２％
	自立（１５）	６％	１１％	▲５％
階段昇降	全介助（0）	９０％	１００％	▲１０％
	一部介助（5）	９％	０％	９％
	自立（１０）	１％	０％	１％
更衣	全介助（0）	５８％	５２％	６％
	一部介助（5）	３５％	３６％	▲１％
	自立（１０）	７％	１２％	▲５％
排便ｺﾝﾄﾛｰﾙ	**全介助（0）**	**５９％**	**４３％**	**１６％**
	一部介助（5）	**３１％**	**３４％**	**▲３％**
	自立（１０）	**１０％**	**２３％**	**▲１３％**
排尿ｺﾝﾄﾛｰﾙ	**全介助（0）**	**５９％**	**５５％**	**４％**
	一部介助（5）	**３０％**	**４０％**	**▲１０％**
	自立（１０）	**１０％**	**５％**	**５％**
合計点	**８０－１００**	**４％**	**４％**	**０％**
	５５－　７５	**１３％**	**２２％**	**▲９％**
	３０－　５０	**２５％**	**２６％**	**▲１％**
	０－　２５	**５９％**	**４８％**	**１１％**

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

【整理】

- **１０項目中、９項目で「全介助等」の割合が少ない**
  当ホームは階段昇降を試せていない

- **当ホームの「排便コントロール」と「排尿コントロール」を比較すると各評価の割合がかなり異なる**

- **「ADL合計点」の０ー２５点層の割合が少なく、５５－７５層の割合が高い**

※もしも、フィードバックを比較して、違いや課題が見当たらなかった場合、当ホームではさらなるICTや介護ロボット等の活用により、「ケアのクオリティは落とさずに現場職員の負担を軽減することに重点」を置いた方策をとることになると思います

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

【確認】８ユニット中の２ユニットのご入居者（１７名）の “ADL”について

・平均要介護度：　３．８２（当ホーム平均より０．２低い）

・平均年齢　　：９０．２歳（当ホーム平均より１．９歳高い）

・障がい高齢者の日常生活自立度B・Cランク　　：全国平均より１３％低い

・認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ・Ⅳ・Mランク：全国平均より１９％高い

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

自立等　**一部介助等**　**全介助・不可能等**

	A様	B様	C様	D様	E様	F様	G様	H様	I様	J様	K様	L様	M様	N様	O様	P様	Q様
要介護度	4	3	4	4	5	4	4	3	4	3	4	4	3	5	5	3	3
日常生活自立度	A2	B2	A2	C1	C2	B2	A2	B1	B2	A2	B1	B2	B2	A2	C2	A2	B2
	III b	III b	III a	IV	IV	IV	III a	III b	III b	III b	II b	IV	III b	IV	III b	III b	III a
排せつ	ﾄｲﾚ	おむつ	ﾄｲﾚ	ﾍﾞｯﾄﾞ上でﾊﾟｯﾄ交換	おむつ	ﾍﾞｯﾄﾞ上でﾊﾟｯﾄ交換	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ	ﾍﾞｯﾄﾞ上でﾊﾟｯﾄ交換	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ	ﾍﾞｯﾄﾞ上でﾊﾟｯﾄ交換	ﾄｲﾚ	ﾄｲﾚ
食事	5	0	10	0	0	0	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5
椅子とﾍﾞｯﾄﾞ間の移乗	10	5	15	0	0	0	10	5	10	10	10	0	10	10	5	15	10
整容	5	0	0	0	0	0	5	5	0	5	0	0	0	0	5	5	0
ﾄｲﾚ動作	5	0	5	0	0	0	5	5	5	5	5	0	5	5	0	10	5
入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平地歩行	10	0	5	0	0	0	10	10	0	10	10	0	10	0	0	10	0
階段昇降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更衣	10	0	5	0	0	0	10	5	5	5	0	0	5	5	0	10	0
排便ｺﾝﾄﾛｰﾙ	10	0	5	0	0	0	10	5	5	10	10	0	10	5	0	10	5
排尿ｺﾝﾄﾛｰﾙ	10	0	5	0	0	0	10	5	5	5	5	0	5	5	0	10	5
合計点	65	5	45	0	0	0	70	45	35	60	45	5	55	35	15	80	30

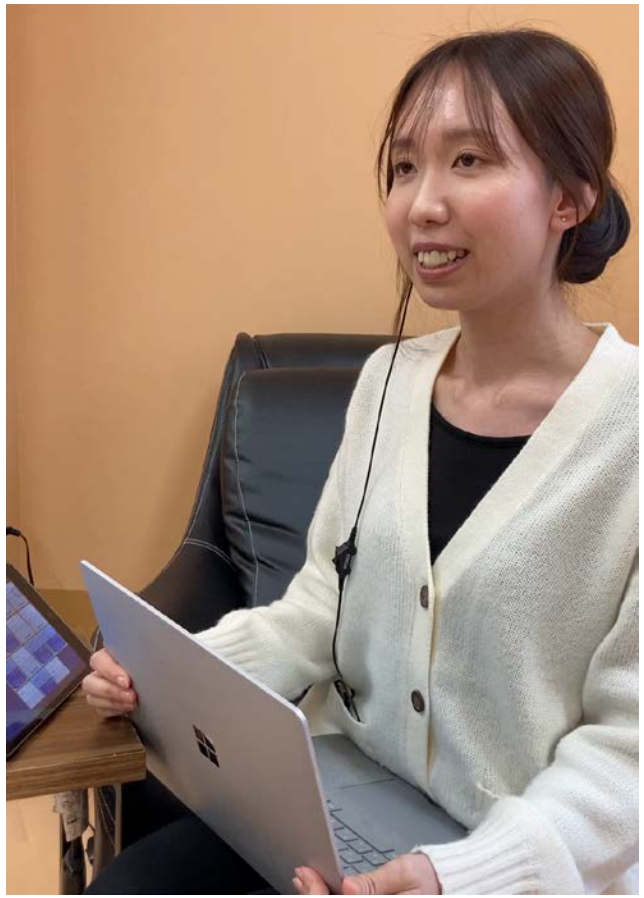
「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

「排せつのコントロール」と「排せつ方法」

	トイレでの排せつ（日中）　１１名			おむつ又はベッド上でパット交換（日中）　６名		
	自立等（１０）	一部介助（５）	全介助（０）	自立（１０）	一部介助（５）	全介助（０）
排便ｺﾝﾄﾛｰﾙ	AGJKMP	CHI NQ				BDEFLO
排尿ｺﾝﾄﾛｰﾙ	AG　　P	CHIJKM NQ				BDEFLO

当ホームスタッフの「経験」と「感覚」→個別ケアをきちんと実施していることがわかった！
なかなかやりますねー(*⁰▽⁰*)

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例

















ULのコメント動画

「ADL」項目に着目した個別ケアへの活用事例



●ケアワーカー
・自動記録によってバイタル測定にかかっていた時間が短縮され、スムーズに業務に入ることができています
・移乗場面の多い入浴介助も防水型のロボットを装着することにより、腰への負担も減りました。



●ユニットリーダー
・手すりなどにつかまり、５ｃｍでもお尻が浮けばトイレに案内します。

・尿意や便意が曖昧でもトイレに行けないと決めつけずにトライしています。



２．LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

■事例

83歳、女性

要介護度4、障がい高齢者の日常生活自立度：B2、認知症高齢者の日常生活自立度：Ⅱb

口腔、栄養、褥瘡ついては、現ケアプランを見直すような新たな課題は見当たらなかった

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

■事例のケア環境





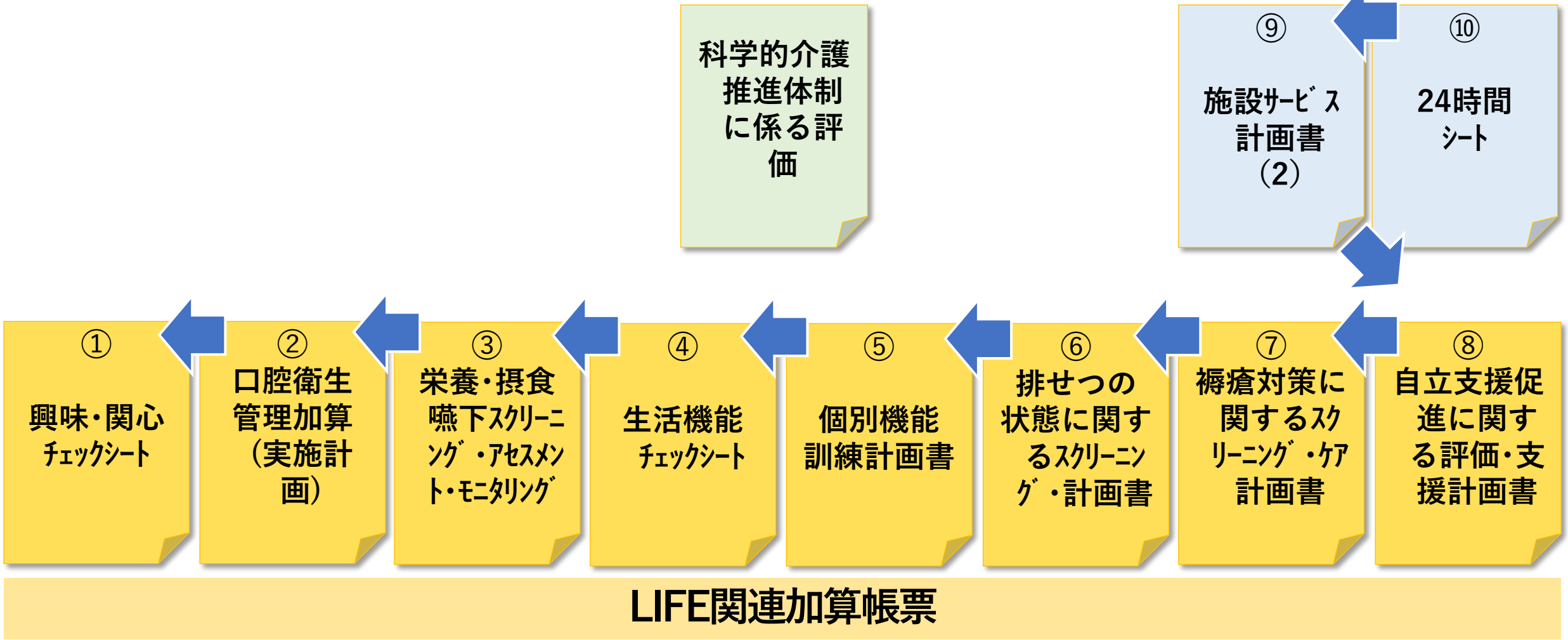








LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例



トレーサビリティの手法で見てみました

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

並べてみると分かりやすいね。



めっちゃわかりやすいです。

ケアプランに位置付けた方がいいかな？



追加しましょう。



参加されているのは、ご本人にとって、こんな意味があるのね。。。

楽しみにしていて、いつも参加されています。

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

■着目した関連加算帳票

⑧ 自立支援促進に関する評価・支援計画書

廃用性機能障害に対する自立支援の取組による機能回復・重度化防止の効果

☑期待できる　☑基本動作・ADL・IADL・社会参加

⑥ 排せつの状態に関するｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ・計画書

支援計画

・体調変化が大きいため、その日の状態に合わせた柔軟な支援を行うことでﾄｲﾚでの排せつを目指す

・車いす前方への転倒に注意など

⑤ 個別機能訓練計画書

個別機能訓練の目標・個別機能訓練項目の設定

活動：立位の保持

参加：対人交流、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝとﾚｼﾞｬｰ

④ 生活機能チェックシート

ADL

日常生活動作の状態を確認

（※⑧自立支援促進に関する評価・支援計画書にも記載有）

・していること

「自分で服を着る、食べる、歯磨きをする、身だしなみを整える」

「洗濯物たたみ」

「友たちとおしゃべり・遊ぶ」

・してみたい・興味がある

「自分でﾄｲﾚに行く」

「生涯学習」「読書」

「映画・観劇・演奏会」

① 興味・関心ﾁｪｯｸｼｰﾄ

「体操・運動」

「散歩」

「野球・相撲観戦」

「畑仕事」

⑨ 施設ｻｰﾋﾞｽ計画書（2）

⑩ 24時間シート

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

（R2.10の状態）

・低栄養ﾘｽｸ：　「中」ﾘｽｸ
　　血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ値は低ﾘｽｸ範囲内

・ADL(BI)　：　40

・DBD-13※5：　24

（R3.10の状態）

・低栄養ﾘｽｸ：　「中」ﾘｽｸ
体重1.7kg増、血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ値は低ﾘｽｸ範囲内

・ADL(BI)　：　40

・DBD-13　：　12

※していること　2　→　7（5増）

※してみたい・興味がある　3　→　9（6増）

※5）認知症の行動・心理症状を客観的に評価する指標で、13項目について数値評価を行う。得点が低いほど認知症の行動・心理症状が見られない。

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

➢現行プラン（令和２年１０月）

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
＃１楽しみを感じながら、ゆっくりと静かに暮らしたい。	(１)楽しみを感じながら、ゆっくりと静かに暮らすことができる。	①買い物や外出をし、気分転換を図ることができる。	・希望に応じて外出を支援する。 ・楽しみな移動販売で商品を購入する。 ・新聞、雑誌などの提供
		②中庭で散歩することができる。	・職員が付き添い、外気、草花に触れる。
＃2動くことが徐々に困難になってきたが、安楽に心地よく過ごしたい。	(１)疾病がある中でも快適に過ごすことができる。	①快適に過ごすことができる。	(略)
			・口腔ケアの提供
			・入浴介助
		②安全に楽しんで食事をすることができる	・栄養ケアの提供
			・食事動作がつらそうなときは、意向を伺い援助

➢改善後プラン

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
みがくしなっら楽じゆ暮感、とい。＃をらりた	身自課切たをこで(１)日大し活るがる。のをに生送とき	きやな感が活あ々るがる。生い割をな生の日送とき①が役どじら感るをこで	・中庭での園芸活動への参加 ・ユニット内でのイベントへの参加 ・自己の意思による買い物(移動販売・自動販売機)
			・好きな時間に好きな音楽を聴く ・テレビ鑑賞(相撲等) ・映画鑑賞
			・新聞を読む ・本や雑誌などの提供(歴史に関する本であれば尚良い)
		康のをなく暮こで②健理援けらっとすがる。管支受がゆりらとき	(略)
			・口腔ケアの実施、評価 ・歯科衛生士の指導、助言に基づいた歯磨きの仕上げの介助 ・誤嚥予防（音楽会、ボイストレーニングへの参加を促す）
			・栄養ケアの実施 ・嗜好に配慮する ・栄養バランスの取れた食事の提供 ・食べやすさに配慮して主食はパンを提供 ・食事中に疲れ等が見られた場合は一部介助を行う

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

➢現行プラン（令和２年１０月）

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
＃2動くこと困難徐々にできにご がにて楽過 にが、安く 地よい。	(1)疾病中適 がある快ごが でも過とる。 にき	③皮膚状態の悪化を防ぐ。	・エアマットを使用し、体位に配慮する。 ・臀部皮膚傷つからし続あ潤で、た清 掻痒症きはのますりし、 炎が、注拘癒継が湿のめる。 ・左手にひらすい努 だ手のれ乾燥に 潔

➢改善後プラン

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
みがくし しなっら 楽じゆ暮 ＃１感、とい。 をらりた	(1)自日大し活るがる。 のをに生送とき 身課切たをこで	康のをな く暮こで ②健理援けらっとすがる。 管支受がゆりらとき	・希望する一般浴(個浴)での入浴及び支援 ・プライバシーに配慮したマンツーマン入浴 ・**コミュニケーションを取りながらリラックスできる**入浴環境に努める
			・過度な前傾姿勢を防ぎ、車いすからの転落防止 ・座位時クッション使用 ・エアマット使用(床ずれ予防)
			・**排せつ時の移動、移乗の見守り**（転倒に注意する）
			・個別機能訓練の実施【個別機能訓練計画書参照】 ・**生活リハビリの実施** ・**テレビ体操などへの参加** ・**音楽会への参加(軽体操)**

ご本人主体のケアプランに近づけた？

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例



●施設ケアマネジャー

・LIFE帳票類の情報をケアプランに活用することで、以前のケアプランより多職種の視点が加わってご本人の希望するサービスや自立支援につながる内容に近づけたのではないかと思います。



●ケアワーカー

・毎朝、必ず新聞を読まれます。
・テレビは、ニュース、相撲などをよくみられています。
・おやつは、アイス、煎餅、チョコなどを希望されることが多いですね。



チラシや雑誌に目を通して…





オンライン花見の会に参加…





オンライン音楽会で体操…

春場所を楽しまれ…





昼食はおにぎりとパンを半分ずつご希望…
カトラリーや飲み物の位置もご自身でセッティング…

LIFE関連加算帳票等に着目したケアプランへの活用事例

【気づき】

- 各帳票の記載内容を見ていくことで、
  アセスメントシートとして活用することが可能（かなり強固）だった

- **「していること」から「できること」に着目**することにつながった
  また、**「興味・関心が高いこと」と「自立支援につながると考えられるケア」**内容をケアプランに反映することができた（**双方について考慮することができるようになった**）

  →**ケアプランへの位置付けの優先度の根拠**につながった

- 介護支援専門員（施設ケアマネ）が中心となり、LIFE関連加算帳票を把握することで、**当ホームにおける新たな多職種連携のあり方が見えてきた**

鈴鹿グリーンホーム

私たちは、地域に信頼されるべき
存在であり続けます



社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム
[公式サイト] (suzuka-greenhome.jp)

【ご参考】

関連加算帳票等に着目したケアプラン への活用事例（その他の事例）

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

■**事例②**
９１歳、女性
要介護度３、障がい高齢者の日常生活自立度A2、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲｂ

■**ｹｱﾌﾟﾗﾝ改善の着目点**
①「**自立支援促進に関する評価･支援計画書**」
・(5)ADL（「生活機能ﾁｪｯｸｼｰﾄ」のADL、「科学的介護推進に係る評価」総論のADL）
・(6)廃用性機能障害に対する自立支援の取組による機能回復・重度化防止の効果：
☑期待できる／☑**基本動作･ADL･IADL･社会参加**
②「**個別機能訓練計画書**」－Ⅱ.個別機能訓練の目標･個別機能訓練項目の設定
・活動：**移動**／参加：**ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ**とﾚｼﾞｬｰ
③「**排せつの状態に関するスクリーニング･支援計画書**」
・支援計画：ADLの低下を防ぐ／**ｼﾙﾊﾞｰｶｰ使用によるﾄｲﾚ誘導･排せつ**／**ｽﾞﾎﾞﾝ･下着の上げ下ろし**／適切なﾀｲﾐﾝｸﾞでの介入･声かけ
④**(再掲)**「**生活機能ﾁｪｯｸｼｰﾄ**」のADL
⑤**(再掲)**「**科学的介護推進に係る評価**」総論のADL
⑥「**興味・関心ﾁｪｯｸｼｰﾄ**」：
・**していること…「自分でﾄｲﾚに行く」「自分で服を着る、食べる、歯磨きする、身だしなみを整える」「友たちとおしゃべり・遊ぶ」「体操・運動」「散歩」**
・**してみたい・興味がある…「料理を作る」「買い物」「洗濯・洗濯物たたみ」「家族との団らん」「歌を歌う」「音楽を聴く」「畑仕事」**

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

➢現行プラン　主に「健康状態の維持」、「身体の清潔保持」に着目した目標設定

➢変更後プラン

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
＃１ 参加したいこと、興味のあることを日課にして生活したい。	【追加】 （１）生活に張りが持て、生活意欲リビングで楽しみのある時間を過ごすことができる。	①他の入居者やスタッフとともに楽しい時間を過ごすことができる。	・**職員や他入居者との交流や会話の機会を増やす** ・**ユニット内の料理イベント、園芸活動**への参加 ・**移動商店来苑時は本人の意向による買い物** ・誕生日や正月など特別な日にスタッフや**家族でお祝いする** ・**家族の面会** ・**洗濯物たたみ** ・少人数の音楽レクへの参加（**音楽を聴く、歌唱、軽体操**等）
	（２）日課の中で身体の清潔保持や身だしなみを整えることができる。	**①洗顔、整髪、歯磨きなどできる範囲は自身で行うことができる。**	・ご自身で難しい部分はスタッフが支援（手の届かないところ、磨き残しなど） ・同性介助

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
（＃１ 参加したいこと、興味のあることを日課にして生活したい。）	（（２）日課の中で身体の清潔保持や身だしなみを整えることができる。）	②トイレでの排せつを維持することできる。	・同性介助 ・**日中、夜間ともにトイレ使用**（夜間は見守り支援機器「眠りSCAN」を使用） ・**シルバカーの使用** ・**立位、反転、移乗動作、ズボンの上げ下げ動作の一部補助** ・ご本人に適した尿取りパットの使用、当て位置の確認 ・**下肢筋力機能訓練の実施** 【排せつ支援計画書参照】
		③希望する一般浴槽（個浴）で入浴することができる。	・機械式個浴槽による入浴 ・同性介助 ・体調確認(入浴前)、体調観察(入浴中、後) ・**洗身、衣類着脱の一部介助** ・皮膚、全身状態観察
＃２（略）	（略）	（略）	（略）

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

■事例③

８６歳、男性、要介護度４、障がい高齢者の日常生活自立度B2、認知症高齢者の日常生活自立度IIIb

■ケアプラン改善の着目点

①「**自立支援促進に関する評価・支援計画書**」

・(5)ADL（「生活機能ﾁｪｯｸｼｰﾄ」のADL、科学的介護推進に係る評価」総論のADL）

・(6)廃用性機能障害に対する自立支援の取組による機能回復・重度化防止の効果

☑期待できる　☑**基本動作・ADL・IADL・社会参加**

②「**個別機能訓練計画書**」

Ⅱ.個別機能訓練の目標・個別機能訓練項目の設定

活動：**立位の保持**／参加：**対人交流、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ**とﾚｼﾞｬｰ

③「**排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画書**」

・支援計画　臥床時はナースコール押釦により対応／**車いす自走によりﾄｲﾚに移動**／**手すりにつかまり立位を取る**

④**(再掲)**「**生活機能ﾁｪｯｸｼｰﾄ**」のADL

⑤**(再掲)**「**科学的介護推進に係る評価**」総論のADL

⑥「**興味・関心ﾁｪｯｸｼｰﾄ**」：

・**していること…「自分でﾄｲﾚに行く」「自分で歯磨きする」「友たちとおしゃべり・遊ぶ」「歌を歌う」「音楽を聴く」**

・**してみたい・興味がある…「自分で服を着る、食べる」「家族との団らん」「生涯学習」「読書」「歌を歌う」「音楽を聴く」、「体操・運動」、「散歩」**

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

➢現行プラン　主に「精神面の低下防止」、「生活の安全性」、「体調管理」に着目した目標設定

➢変更後プラン

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
（略）	（略）	（略）	・個別機能訓練の実施 **立ち上がり動作、立位保持、足上げ運動10回３ｾｯﾄ** **・生活ﾘﾊﾋﾞﾘの実施** **ﾃﾚﾋﾞ体操、起き上がり動作、立ち上がり動作等**
（略）	【追加】 （１）生活に張り合いが持て、生活意欲を維持または向上することができる。	【追加】 ①家族を含めた他者との交流機会を増やし、生きがいや楽しみを持って生活を送ることができる。	**・新聞を読む（毎朝）** **・他の入居者との交流機会や職員とのコミュニケーションの機会を増やす** 随時、声かけ等により、関わりを持てるよう支援する
			・少人数の音楽レクへの参加（**音楽を聴く、歌唱、軽体操**等） **・気候のよい日には中庭へ散歩**に出かける。庭内の草花、風景に触れることで季節を感じられるよう支援を行う ・好きなテレビ番組を見る

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	短期目標	サービス内容
（略）	【追加】 （１）生活に張り合いが持て、生活意欲を維持または向上することができる。	【追加】 ①家族を含めた他者との交流機会を増やし、生きがいや楽しみを持って生活を送ることができる。	**・面会等により家族との交流の機会を持つ。** **・ホーム内イベント、行事への参加**
			・理容サービスの利用 **・移動商店での買い物**
		（略）	（略）
		②支援を受けながら、清潔を保持することができる。	（略）
			・排せつの支援 **移動は車いす自走** **トイレでの排せつ時は、手すりにつかまり、立位を取り、ズボンの上げ下げを介助**する 【排せつ支援時計画書参照】

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

➢各事例の状態の変化

【事例②】

(R2.10)
・低栄養ﾘｽｸ　：「中」ﾘｽｸ
・ADL(BI)　：　65
・DBD-13　：　0

(R3.10)
・低栄養ﾘｽｸ　：「低」ﾘｽｸ
※血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ値改善
・ADL(BI)　：　80
・DBD-13　：　0

【事例③】

(R2.10)
・低栄養ﾘｽｸ　：「中」ﾘｽｸ
・ADL(BI)※6　：　30
・DBD-13※7　：　10

(R3.10)
・低栄養ﾘｽｸ　：「低」ﾘｽｸ
※血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ値改善
・ADL(BI)　：　45
・DBD-13　：　0

【参考】LIFE関連加算帳票等に着目したケアプラン改善への活用事例（その他の事例）

■全３事例の変化

項　目		変　化（３事例の合計）
ケアプラン	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	記載内容の変更数　３箇所　（　５箇所中）
	長期目標	記載内容の変更数　３箇所　（　９箇所中）
	短期目標	記載内容の変更数　７箇所　（１４箇所中）
	サービス内容への「していること」の位置付け	**(旧プラン)６→(プラン改善後)１９（＋１３）**
	サービス内容への「やってみたい」「興味のある」ことの位置付け	**(旧プラン)６→(プラン改善後)２１（＋１５）**
Barthel Index評価		**１３５　→　１６５　（＋３０）**
DBD-１３		**３４　→　１２　（▲２２）**